

2018年8月期第1四半期 決算サマリー

連結業績

(億円)

	2017年8月期	2018年8月期			
	1Q実績	1Q実績		通期予想	
	(2016/9~2016/11)	(2017/9~2017/11)	前期比	(2017/9~2018/8)	前期比
売上収益	5,288	6,170	+16.7%	20,500	+10.1%
売上総利益	2,706	3,170	+17.1%	-	-
(売上比)	51.2%	51.4%	+0.2p	-	-
販管費	1,841	2,042	+10.9%	-	-
(売上比)	34.8%	33.1%	▲1.7p	-	-
事業利益	864	1,128	+30.5%	2,050	+11.4%
(売上比)	16.4%	18.3%	+1.9p	10.0%	+0.1p
営業利益	885	1,139	+28.6%	2,000	+13.4%
(売上比)	16.8%	18.5%	+1.7p	9.8%	+0.3p
金融収益・費用	156	39	▲74.8%	0	-
(売上比)	3.0%	0.6%	▲2.4p	-	-
税引前利益	1,042	1,178	+13.1%	2,000	+3.4%
(売上比)	19.7%	19.1%	▲0.6p	9.8%	▲0.6p
親会社の所有者へ 帰属する当期利益	696	785	+12.7%	1,200	+0.6%
(売上比)	13.2%	12.7%	▲0.5p	5.9%	▲0.5p

グループ事業別業績

(億円)

		2017年8月期	2018年8月期	
		1Q実績	1Q実績	
		(2016/9~2016/11)	(2017/9~2017/11)	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上収益	2,388	2,570	+7.6%
	事業利益	461	534	+15.8%
	(売上比)	19.3%	20.8%	+1.5p
	営業利益	456	541	+18.6%
(売上比)	19.1%	21.1%	+2.0p	
海外ユニクロ事業	売上収益	1,965	2,582	+31.4%
	事業利益	306	467	+52.7%
	(売上比)	15.6%	18.1%	+2.5p
	営業利益	301	466	+54.7%
(売上比)	15.3%	18.1%	+2.8p	
ジーユー事業	売上収益	575	608	+5.6%
	事業利益	68	89	+32.0%
	(売上比)	11.8%	14.8%	+3.0p
	営業利益	68	90	+31.8%
(売上比)	11.9%	14.8%	+2.9p	
グローバルブランド事業	売上収益	352	400	+13.8%
	事業利益	28	31	+9.5%
	(売上比)	8.2%	7.9%	▲0.3p
	営業利益	27	30	+10.4%
(売上比)	7.8%	7.6%	▲0.2p	

【決算ハイライト】

■2018年8月期第1四半期の連結業績：計画を上回り、増収増益を達成

- ・売上収益は6,170億円、前年同期比16.7%増、営業利益は1,139億円、同28.6%増と増収増益を達成。
- ・金融損益に為替差益39億円を計上した結果、税引前四半期利益は1,178億円、同13.1%増、親会社の所有者に帰属する四半期利益が785億円、同12.7%増の増益。

■国内ユニクロ事業：秋冬商品の需要が強く、売上好調で計画を大きく上回る増益

- ・売上収益は2,570億円、前年同期比7.6%増、営業利益は541億円、同18.6%増と増収増益。

- ・既存店売上高は同 8.4 増。ヒートテック、ダウン、スウェット、メリノセーターなどの秋冬商品の需要が強く、売上は好調。
- ・11月には「ユニクロ感謝祭」の販売が好調、単月での売上は過去最高を更新。

**■海外ユニクロ事業：計画を上回る大幅な増益。売上収益は初めて国内ユニクロを上回る**

- ・売上収益は 2,582 億円、前年同期比 31.4%増、営業利益は 466 億円、同 54.7%増と、大幅な増収増益を達成。第1四半期の売上収益は、初めて国内ユニクロ事業の売上収益を上回る。
- ・特に、グレーターチャイナ、韓国、東南アジア・オセアニアが、引き続き大幅な増収増益。米国は、この第1四半期では黒字に転じる。

**■ジーユー事業：既存店売上高は減収も、営業利益は計画を上回り増益**

- ・売上収益は 608 億円、前年同期比 5.6%増、営業利益は 90 億円、同 31.8%増と、増収増益。
- ・10月以降は防寒衣料などの実需アイテムが少なかったことから、第1四半期の既存店売上高は減収。

**■グローバルブランド事業：計画通りの増収増益**

- ・売上収益は 400 億円、前年同期比 13.8%増、営業利益は 30 億円、同 10.4%増と、増収増益。
- ・セオリー事業は増収増益。コントワー・デ・コトニエ事業は計画を下回り減益。

**■2018年8月期の連結業績予想：期初予想から変更なし**

- ・2018年8月期の連結業績は、期初予想通り、売上収益 2兆500億円、前期比 10.1%増、営業利益 2,000億円、同 13.4%増、親会社の所有者に帰属する当期利益 1,200億円、同 0.6%増を見込む。
- ・1株当たり年間配当金は 350円を予想。

\*\*\*\*\*

**業績概要**

**■国内ユニクロ事業：秋冬商品の需要が強く、売上好調で計画を大きく上回る増益**

国内ユニクロ事業の第1四半期の売上収益は 2,570 億円(前年同期比 7.6%増)、営業利益は 541 億円(同 18.6%増)と、増収増益になりました。Eコマース販売を含む既存店売上高は同 8.4%増でした。

ヒートテック、ダウン、スウェット、メリノセーターなどのユニクロが強みとする秋冬商品の需要が強く、これらの商品の在庫をしっかりとった商売ができたことにより、好調な売上となりました。11月には「ユニクロ感謝祭」の販売も計画を大きく上回り、単月での売上は過去最高を更新いたしました。Eコマースの売上は同 25.6%の増収で、売上構成比は 7.0%へと上昇しました。為替の社内レートが円安傾向が続いていることで、原価率が上昇していますが、売上総利益率は、値引率が改善したため、前年同期比で 0.2ポイントの低下にとどまっています。売上販管費比率は、特に広告宣伝費、物流費の大幅な削減が寄与し、同 1.7ポイント改善しました。

**■海外ユニクロ事業：計画を上回る大幅な増益。売上収益は初めて国内ユニクロを上回る**

海外ユニクロ事業の第1四半期の売上収益は 2,582 億円(前年同期比 31.4%増)、営業利益は 466 億円(同 54.7%増)と、大幅な増収増益を達成しました。海外ユニクロ事業は着実に事業を拡大しており、この第1四半期の売上収益は、初めて国内ユニクロ事業の売上収益を超えました。

エリア別では、特にグレーターチャイナ、韓国、東南アジア・オセアニアが引き続き大幅な増収増益となり、業績を牽引しています。グレーターチャイナ、韓国は前年に比べ、寒い秋冬シーズンとなったことから、特に防寒衣料の販売が好調でした。東南アジア・オセアニアは、常夏の気候に合った夏物商品が好調なことに加え、トラベル需要を捉えた冬物商品の販売が好調で、増収に寄与しました。また、赤字が継続していた米国は、この第1四半期では黒字に転じることができました。欧州も好調なフランス、ロシアの業績により、大幅な増益となりました。2017年9月にはスペインに初出店し、大成功を収めています。

### ■ジーユー事業：既存店売上高は減収も、営業利益は計画を上回り、増益

ジーユー事業の第1四半期の売上収益は608億円(前年同期比5.6%増)、営業利益は90億円(同31.8%増)と、増収増益になりました。9月はトレンド商品を中心に順調な立ち上がりとなったものの、10月以降は防寒衣料などの実需アイテムが少なかったことにより、第1四半期の既存店売上高は減収となりました。一方で、値引きのコントロールや経費削減により、営業利益は増益となりました。

### ■グローバルブランド事業：計画通りの増収増益

グローバルブランド事業の第1四半期の売上収益は400億円(前年同期比13.8%増)、営業利益は30億円(同10.4%増)と、増収増益になりました。セオリー事業は増収増益、コントワー・デ・コトニエ事業は減益、プリンセス・タム・タム事業およびJ Brand事業は前年並みの赤字となりました。

### ■2018年8月期の業績予想：期初予想から変更なし

2018年8月期の連結業績は、売上収益2兆500億円、前期比10.1%増、営業利益2,000億円、同13.4%増、税引前利益2,000億円、同3.4%増、親会社の所有者に帰属する当期利益1,200億円、同0.6%増、基本的1株当たり当期利益は1,176.66円と、期初予想から変更していません。

各セグメントでは、期初予想通り、増収増益を見込んでおります。国内ユニクロ事業は、若干の増収増益、原価率の上昇により、粗利益率は若干の低下を予想。経費削減策を継続し、特に物流費、広告宣伝費の効率化を図ります。海外ユニクロ事業は、大幅な増収増益の見込みです。特に、グレーターチャイナ、東南アジア・オセアニア地区の大幅な増収増益が寄与し、北米事業(米国・カナダ)も赤字が半減する見込みです。ジーユー事業は増収増益、グローバルブランド事業も、セオリー事業の貢献により、増収増益を見込んでいます。2018年8月期末の店舗数は国内ユニクロで831店舗(フランチャイズ店含む)、海外ユニクロで1,246店舗、ジーユー事業で407店舗、グローバルブランドで1,019店舗、合計3,503店舗を予想しています。

なお、1株当たり年間配当金は、中間配当金175円、期末配当金175円を合わせて350円、前期と同額の配当金を予想しております。

IR情報 <http://www.fastretailing.com/jp/ir/> に決算データや各種リリースなどを開示しております。